

筑波耐久走行会



更新履歴

2026年2月18日 P3タイヤ規定に A050 追加
2026年1月31日 タイヤ規定更新

1) 主催

(有)ジャパンレーシングサービス

〒250-0012 神奈川県小田原市本町 4-3-43

事務局連絡先 0550-78-0128

2) 参加料金・参加申込方法

大会ページを参照ください。



3) チームと車両構成・参加資格・参加受理書

- 1) ドライバーは適格な運転免許証を保有すること。
- 2) 各チームのドライバー人数は **2名以上4名以下**となります。一人が単独で走行することは出来ません。必ずドライバー交代が必要です。
- 3) 一人のドライバーが他のチームを兼任することはできません。
- 4) 車両はチームに対し **1~4台**まで使用出来ます。複数台使用するチームはピット交代時に発信機を次の車両へ載せ替えてから走行してください。
- 5) 複数台使用する場合は、そのクラスに合致していることを確認ください。
- 6) 参加受理書は大会 10~5 日前までに郵送します。大会の 4 日前までに届いて居ない方は必ず事務局までお電話ください。

4) イベントの構成

第 1 セッション：15 分間のタイムアタック、出走台数：30 台前後

第 2 セッション：ローリングスタートによる 2 または 3 時間耐久、出走台数：30 台前後

5) クラス分けとクラス名称

クラス名称	エンジン		対象車両	参考	車種一例
Class K	軽自動車	問わず	ロールゲージ 必備		
Class 1	1,500 cc 以下	NA	ナンバー付		Vits、FIT、ロードスターND
Class 2	2,000 cc 以下	NA (※)	ナンバー付		S2000、86/BRZ、ロードスター NC、ZC32S スイフト、 ※ZC33S スイフト 1.4L ターボ
Class 3	2,500 cc 以下	NA	ナンバー付		NEW86/BRZ、ボクスター、 アルファ 156
Class 4	2,500 cc 以上	NA	ナンバー付		アルファ、BMW M2、 ボクスター/ケイマン、Z33/Z34

Class 5	1,500 cc 以下	NA		N1 車両は 1500 cc以下	EP82, NCP131
Class 6	NA2,000 cc以下 または 1.5 l 以下のターボ	NA ターボ		N1 車両は 1,500 cc以上 2,000 cc 以下	AE110, AE111, EG6, EK9, S13
Class Super	NA 330 馬力以上 または 1.6 l 以上のターボ	NA ターボ			S13 ターボ, Evo, インプレッサ, GR ヤリス(ターボ)
捕捉	タイヤはラジアルまたは S タイヤとなります。スリックタイヤは使用できません。 RX-8 は「2000 cc」として換算します。 ナンバー付き車両もチューンの程度において Class5,Class6 など上級クラスへの編入移行もあります。				

6) スリックタイヤ・S タイヤ・ラジアルタイヤの規定

近年スリックタイヤの風の S タイヤが販売されていますが、それらは「スリックタイヤ」の扱いとなります。

以下の写真は一例です。

【この手はスリックタイヤとしての扱い】

クムホ V710
ハンコック Z214
など



主に S タイヤとして扱う製品		
イヤ銘柄	ブランド	タイヤ名称
ブリヂストン	POTENZA	RE-12D / RE-07D / RE-11S
横浜ゴム	ADVAN	A050 / A08B
住友ゴム工業	DIREZZA	β02~10 / 03G / 02G / D93J / 94R
	AZENIS	RT615K+
日本グッドイヤー	EAGLE	F1 SPORT / RS SPORT V3
トーヨータイヤ	PROXES	R888R
ミシュラン	PILOT	SPORTS CUP / SUPER SPORT
ピレリ	P ZERO	TROFEO R
ナンカン	Sportnex	AR-1
ハンコック	Ventus	Z215 / TD

主にラジアルタイヤとして扱う製品		
イヤ銘柄	ブランド	タイヤ名称
ブリヂストン	POTENZA	RE-71RZ / S007A / Adrenalin RE005
横浜ゴム	ADVAN	A052 / NEOVA AD09 / Sport V107
住友ゴム工業	DIREZZA	β11 / ZⅢ / SP SPORT MAXX 060+
日本グッドイヤー	EAGLE	F1 SUPERSPORT / RS SPORT S-SPEC
トーヨータイヤ	PROXES	R1R / Sport 2
日本ミシュランタイヤ	PILOT	SPORT 5 / SPORT 4S
ピレリ	P ZERO	CORSA / CORSA SYSTEM
クムホ	ECSTA	V730 / V720 / V700
ナンカン	Sportnex	CR-S / NS-25 / NS20
ハンコック	Ventus	Z232
シバタイヤ	SHIBATIRE	R23 / R31 (200S / 200R / 280 / 280R)

7) 車両の準備

- ✓ 配布された発信機を右窓の内側へ**ガムテープ**で貼り付ける！貼り付け場所や貼り付ける方向が間違っていると計測できない場合があるので慎重をお願いします！
- ✓ 雨や風圧に耐えうるゼッケン番号を「**前と左右**」に貼り付ける！特にサイズや色に規定はございませんが、はっきり認識でき、走行中に剥がれないよう固定してください！
- ✓ 牽引フックを取り付ける。車載工具に付属する純正品で OK！
- ✓ ガラス製のヘッドライトやウインカーにテーピングを行う。プラスチック製のヘッドライトなどはテーピング不要！
- ✓ 運転席側の内張は剥がさないようお願いします。金属むき出しのドア内側はとても危険です。特に**ドライバーの腕が板金に当たる等**の車両はとても危険な為、走行をお断りする場合があります！
- ✓ 安全でない車両は出走できなくなる場合があります。例えば、「**内装を全て外してしまう**」、「**燃料ラインを車内でジョイントしている**」など。
- ✓ 少なくとも基本メンテナンス（ブレーキ、オイル類、ベルト類の確認）を事前に必ず済ませておいてください！
- ✓ **ホイールのスペーサーは使用禁止！**実際にスタッドが折れてホイールが吹っ飛んだ事例が多数！

【とても重要です！】

発信機とゼッケンは指定場所に“固定”してください。

走行中に発信機が認識できない場合は、バックアップとして定点カメラにて**右側ゼッケン**を確認し光電管を介して計測します。しかしゼッケンが小さかったり、剥がれていると車両の認識ができなくなり、これらは計測結果に直接影響してしまうため十分ご注意ください！



8) ドライバーの準備と装備

- ✓ ヘルメット、レーシンググローブ（軍手など不可）、運動靴装着厳守。
- ✓ 服装はレーシングスーツを着用してください。公認スーツの必要はございませんが難燃性素材のスーツを着用厳守となります。
- ✓ ハンズ、4点シートベルト等の安全装備があれば尚良いです。

【備えあれば憂いなし！】

時に安全はお金で買えることがあります。お小遣いをセコセコ貯めて、シートベルト、ロールゲージ、上質なヘルメット、ハンズなど安全装備品を揃えることを強くお勧めします！

- ✓ 走行中の腕まくりなど、素肌が見えた状態で運転しないようご注意ください。
- ✓ 運転中に運転席の窓は石等の飛び込みを防ぐ為に閉めてください。窓を開ける場合は後部や助手席などで対応をお願いします。
- ✓ 同乗走行は一切禁止となります。

9) ルールとマナー

- ① 如何なる状況であろうと事故の際は、相手に責任を追究したり、その責任を求めたりすることは出来ません。全ては **50 : 50**（五分五分）となります。
- ② ガードレールなど施設を破損した際は、施設補修費用が発生します。
- ③ 走行中に給油する際は、ガソリンスタンドで給油を行ってください。
また携行缶で給油する場合は必ずパドック内で行い、消火器を携えた作業者が立ち会うようお願いします。
- ④ 車両を入れ替える際は、発信機の移動が必要です。なおコース上でストップした場合は SC または赤旗などで走行がコントロールされた後に発信機が次の方へ渡ります。コース上でストップしピットへ戻れない場合、まずドライバーは至近のガードレールの外など安全なところへ待避してください。コース上を SC 対応した後にレッカー車により回収しますがこのタイミングにつきましては主催者の判断とします。なおチェッカーまで 20 分を切ったタイミング

での回収は行わないことがあります。

- ⑤ 黄旗が振られている間は**追い越し禁止**となります。極端な低速車両の追い越し以外は規制区間を厳守下さい。なお規制解除は**緑旗**となります。
- ⑥ 赤旗中断中も計測時間に含まれます。
- ⑦ ブリーフィングは必ず参加ください。また必要に応じてピットクルーもご参加ください。
- ⑧ SC（セーフティカー）導入の手順。

セッション中にコース内で障害物や何らかの理由により低速走行が必要とされる時に SC を導入します。なおこの間にピットインもできます。

- 1) 各ポストから「SC」のボードが提示され、コントロールブリッジも「SC」を表示する。
- 2) 直ちに安全な速度を保ち**一列**の隊列で走行を維持（ピットイン可）。なおこの間は**追い越し禁止**となります。
- 3) フラッシングライトを点灯した SC がコースに進入し隊列の先頭に配置し 70 キロ前後で走行を続ける。
- 4) SC の解除が迫ってくると SC のフラッシングライトが消灯。
- 5) SC が隊列を離脱しピットインします。隊列は一定の速度を保ってそのまま走行を維持。
- 6) スタートラインの信号が「青」になったら走行が再開し、この時点から**追い越し可能**となります。なおこのときポストから**緑旗**も振られます。

- ⑨ 「赤旗」が掲示された際の手順

走行を一旦停止しなければならない場合には、各ポストより「赤旗」を提示します。赤旗を確認したら安全な速度で

ピットロードへ戻ってください。

- 1) 各ポストより赤旗が提示される。
- 2) 安全な速度でピットへ戻る。
- 3) 赤旗の間もセッションの時間に含まれます。またこの間にピット作業やドライバー交代もできます。
- 4) 走行準備が整っている方は、ピットエンドで待機(**信号は「赤」**)。後にここから走行が再開します。
- 5) ピットエンドの信号が「赤」から「青」へ変わったらコースインが可能となり、ここから**走行が再開(リ・スタート)します**。

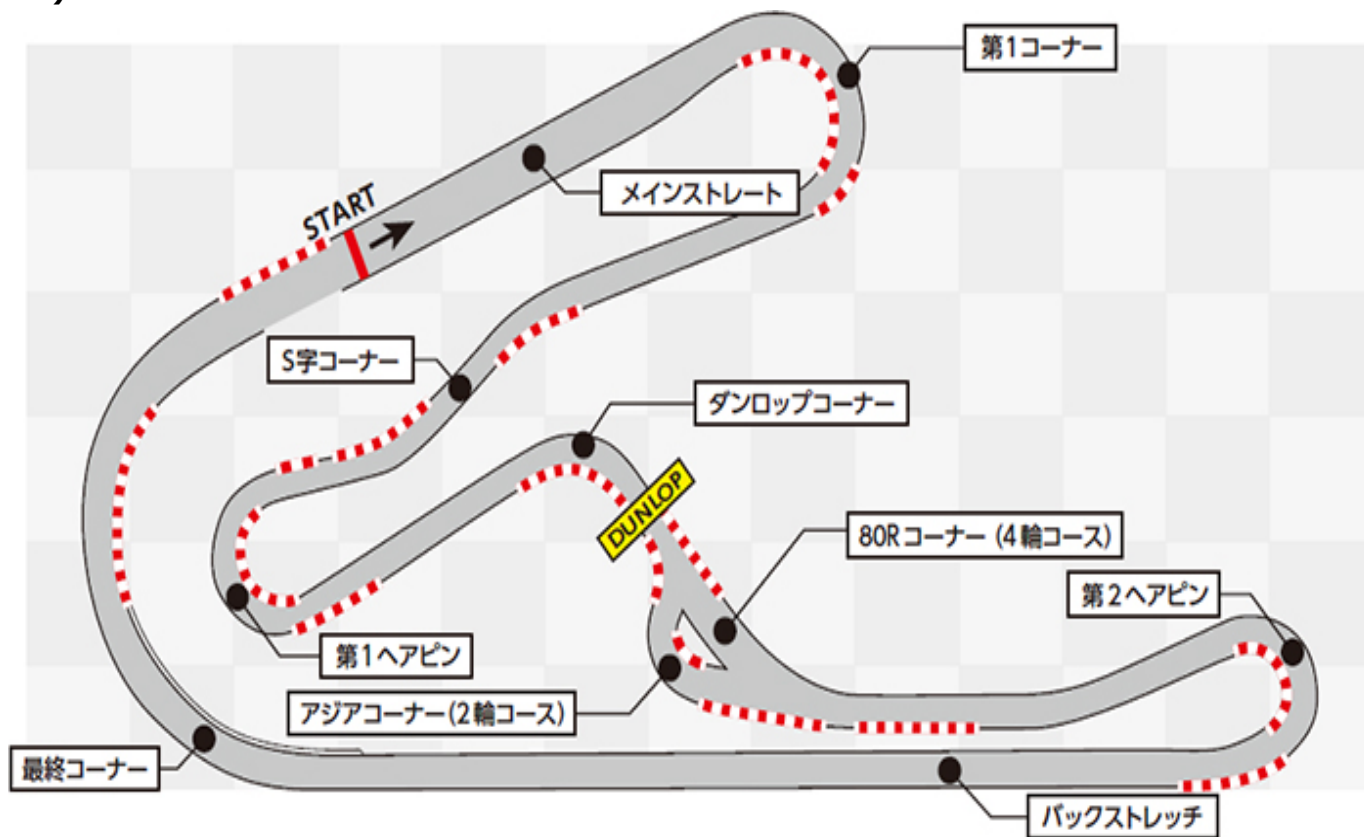
10) 第 2 セッションのスタート手順

- ① 第 1 セッションのベストタイム順にスターティンググリッドを決定します。第 1 セッションに出走しないチームは主催者判断にてグリッドを割り振ります。
- ② セッション終了後にグリッド表を配布します。各自事務局まで取りにきてください。
- ③ ピットロードエンドへ整列（**参加台数が多い場合など安全を確保するためにピットロードより SC スタートとなる場合があります。当日のブリーフィングにて発表**）
- ④ コースインしグリッドに整列
- ⑤ ピットクルーはグリッドより退去
- ⑥ エンジン始動
- ⑦ ローリング開始（計測開始）
- ⑧ SC 離脱
- ⑨ シグナルがグリーンでレースがスタート
- ⑩ 総合順位 1 位のチームから先頭にチェッカー。なお順位の確定は「周回数優先」となります。

11) 発信機返却

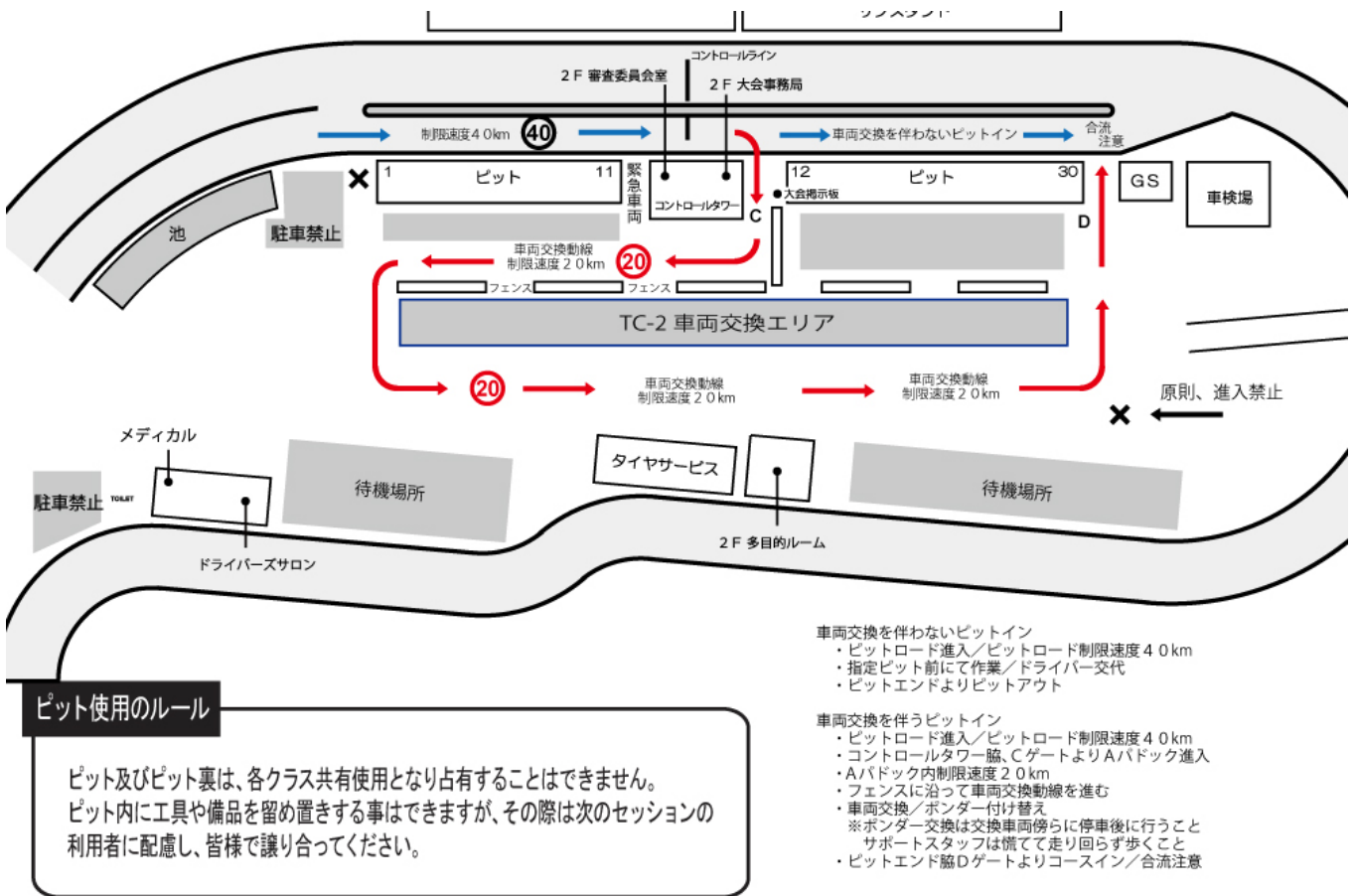
チッカーを受けてピットに戻ったら発信機を返却ください。

12) コース図



13) パドックの動線図一例

事前に公式通知にて導線図が公示されます。



14) 事務局より

みなさまの協力なくして、この大会は成立致しません！

くれぐれも事故なく安全な走行を心掛けて頂き、この一日を楽しんでください。